

第2期 山梨県自殺対策推進計画（R2～R5（R6））の取組状況



成果目標の状況

① 住所地ベース（人口動態統計）

目標

指標	現況値 (平成30年)	目標値	
		令和6年	令和8年
自殺死亡率	17.0	13.7	13.0



現状

指標	令和3年	令和4年	令和5年
自殺死亡率	16.2	16.8	19.2
(参考) 全国	16.5	17.4	17.3

② 発見地ベース（自殺統計）

目標

指標	現況値 (平成30年)	目標値
自殺者数	204人	下記の両方を達成すること
自殺前住居地「県内」	146人	住所地ベースの成果目標の達成状況で判断
自殺前住居地「県外・不明」	58人	平成30年を基準に、全国の自殺者の減少率を上回る減少となること



現状

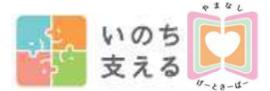
	平成30年	令和5年	増減率
県内で発見された自殺前住居地が「県外・不明」の自殺者数	58人	63人	8.6%
全国の自殺者数	20,840人	21,837人	4.8%

全国、本県とも自殺者数は増加している

活動目標の状況

施策の柱	項目	算出方法	計画策定時点	目標	R5年度	達成(見込み)
普及啓発活動の推進	「山梨いのちの日」「自殺予防週間」「自殺対策強化月間」のいずれかの認知度	街頭キャンペーン時におけるアンケート調査	—	90%	55.1%	×
	いのちのセーフティフォーラムの参加者数	参加者数	232人 (平成30年度)	300人 (各年度)	200人	△
	自殺統計等を分析した本県の自殺の現状の情報提供	情報提供回数	—	1回以上 (各年度)	5回	○
人材の確保・育成	ゲートキーパーの認知度	街頭キャンペーン時におけるアンケート調査	—	34%	25%	×
	ゲートキーパーの人数	市町村等において一定の研修を終了した者	4,555人 (～平成30年度)	10,000人 (累計)	12,353人 (累計) (R5単年度:1,377人)	○
		県職員を対象とした自殺対策研修を受講した職員数	—	(うち県職員)750人 (令和2～6年度累計)	562人 (累計) (R5単年度:144人)	○
	介護支援専門員更新研修Ⅰ受講者のうち修了者の割合	研修受講者数及び修了者数	97.5%	97.5%	100%	○
心の健康づくりの推進	公立学校で認知したいじめの解消率(翌年度6月末までに解消した件数の割合)	教育委員会による調査	小中 99.2% 高 97.7% (平成30年度)	小中 99.5% 高 98.8% (令和5年度)	小中 99.0% 高 98.5% (令和4年度)	○
	小中高校におけるSOSの出し方に関する教育の実施率	教育委員会による調査	—	100%	小中高 95.1%	○
	働き方改革アドバイザーによる企業訪問件数	企業訪問件数	452社 (平成30年度)	2,500社 (令和2～6年度累計)	2,041社 (R5単年度:530社)	○
相談支援の充実	「こころの健康相談統一ダイヤル」「よりそいホットライン」等の相談ダイヤルの認知度	街頭キャンペーン時におけるアンケート調査	—	67%	66.9%	○
	ひきこもりサポーター養成研修実施市町村数	実施市町村数	2市 (平成30年度)	14市町村 (累計)	6市町 (累計)	×
	子育て世代の相談窓口の周知度	アンケート調査	33.7% (平成30年度)	55%	36.0%	×
医療体制の充実	アルコール依存症治療拠点機関の設置状況	設置状況	なし (平成30年度)	1箇所以上	1箇所	○
ハイリスク地・ハイリスク者に対する対策強化	健やか樹海ウォークの県外からの参加者数	参加者数	75人 (令和元年度)	120人	96人	△
自殺未遂者等に対する支援	自殺未遂者等に関する研修への参加機関数	参加した機関	26機関 (平成30年度)	50機関 (毎年度)	48機関	○
自殺者の親族等に対する支援	自殺者の親族の相談に関わる職員向けの研修への参加機関数	参加した機関	21機関 (平成30年度)	延べ125機関 (令和2～6年度累計)	90機関 (累計) (R5単年度:28機関)	△

第 3 期 山梨県自殺対策推進計画 (R6~R10) の活動目標



活動目標

施策の柱	項目	算出方法	計画策定時点	目標	前計画からの変更
普及啓発活動の推進	「山梨いのちの日」「自殺予防週間」「自殺対策強化月間」のいずれかの認知度	街頭キャンペーン時におけるアンケート調査	44.0% (R4 年度)	90%	継続
	県民が県の取組に参加する機会の提供	機会提供回数	—	3 回以上 (各年度)	新規
	自殺統計等を分析した本県の自殺の現状の情報提供	情報提供回数	5 回 (R4 年度)	4 回以上 (各年度)	回数増
人材の確保・育成	ゲートキーパーの認知度	街頭キャンペーン時におけるアンケート調査	23.8% (R4 年度)	34%	継続
	ゲートキーパーの人数	市町村等において一定の研修を終了した者	10,976 人 (~R4 年度)	20,000 人 (累計)	継続
		県職員を対象とした自殺対策研修を受講した職員数	(うち県職員) 418 人 (~R4 年度)	(うち県職員) 1,300 人 (累計)	継続
	妊産婦のメンタルヘルスケアに関わる従事者研修の受講者数	研修受講者数	278 人 (~R4 年度)	846 人* (累計)	新規
心の健康づくりの推進	公立学校で認知したいじめの解消率 (翌年度 6 月末までに解消した件数の割合)	教育委員会による調査	小中 99.1% 高 97.3% (R3 年度)	小中 99.5% 高 98.8% (R9 年度)	新規
	小中高校における SOS の出し方に関する教育の実施率	教育委員会による調査	100%	100%	継続
	運動・スポーツ未実施率	スポーツ振興課による調査	21.3% (R4 年度)	10%*	新規
	ひきこもり支援団体の認証数	認証民間支援団体数	—	10 団体*	新規
	介護予防に資する通いの場の参加人数	参加人数	8,844 人 (R2 年度)	20,000 人*	新規
	働き方改革アドバイザーによる企業訪問件数	企業訪問件数	529 社 (R4 年度)	2,500 社 (R6~10 年度累計)	継続
相談支援の充実	「こころの健康相談統一ダイヤル」「よりそいホットライン」等の相談ダイヤルの認知度	街頭キャンペーン時におけるアンケート調査	80.8% (R4 年度)	90%	継続
	学校内外で相談支援を受けていない児童生徒の割合	教育委員会による調査	小中 30.6% (R4 年度)	小中 0%* (R7 年度)	新規
			高 33.3% (R4 年度)	高 0%* (R7 年度)	
	子育て世代の相談窓口の周知度	アンケート調査	41.7% (R4 年度)	55%	継続
医療体制の充実	依存症治療拠点機関の設置状況	設置状況	アルコール (R4 年度)	アルコール・薬物・ギャンブル	拡充
ハイリスク地・ハイリスク者の対策強化	健やか樹海ウォークの県外からの参加者数	参加者数	96 人 (R5 年度)	120 人 (毎年度)	継続
自殺未遂者等に対する支援	自殺未遂者等に関する研修への参加機関数	参加した機関	26 機関 (R4 年度)	50 機関 (毎年度)	継続
自殺者の親族等に対する支援	自殺者の親族の相談に関わる職員向けの研修への参加機関数	参加した機関	31 機関 (R4 年度)	延べ 125 機関 (R6~10 年度累計)	継続

*山梨県総合計画の目標と整合するため、R8年度時点の目標値。

令和5年度 山梨県自殺防止センターの取組内容について

事業名		取組内容	実績
調査研究	自殺対策調査研究事業	○若年層の心の悩みに対する山梨県内の大学・短期大学における相談支援体制の実態 調査対象：県内の大学・短期大学12校と教職員320名 調査項目：基本属性（学校種別、職員体制等）、相談体制の有無及び職員体制、相談経験の有無（うち自殺関連相談）、 学生が悩みを抱えた際の対処方法、必要だと思う自殺防止対策、等 調査期間：令和5年12月	○左記取組内容のとおり実施し、報告書をホームページに掲載した。
	自殺対策企画研修	○市町村・保健所の自殺対策担当者のための研修会 内容：「『地域自殺対策計画の策定・見直しの手引き』を踏まえた計画の策定・見直しについて」 講師：厚生労働大臣指定 一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター 地域連携推進部 中部北陸ブロック担当 小牧 奈津子 氏・大竹 三千代 氏	○令和5年9月28日（木） 市町村、保健所職員 18名
人材育成	自殺関連問題相談支援研修会	○ゲートキーパー指導者養成研修会 内容：講義「本県の自殺の現状及び自殺に至る心理的過程と精神疾患との関係」 講師：精神保健福祉センター所長 志田 博和 講義・演習「相談の基本～悩みを抱えた人への接し方～」 講師：心理臨床オフィス・ルーエ 深沢 孝之 氏 講義「ゲートキーパー養成講習の実施方法やテキストの活用について」 講師：自殺防止センター職員	○令和5年8月4日（金） 市町村、警察署職員等 42名
		○ゲートキーパー指導者フォローアップ研修 内容：講義「未遂者支援の重要性について」 講師：精神保健福祉センター所長 講義・演習「自殺防止のための支援を考える ～対象者の理解と安定した支援のために～」 講師：NPO法人メンタルケア協議会 理事 西村 由紀 氏	○令和5年11月6日（月） 市町村、警察署、保健所職員等 18名
	心の健康づくり推進事業 （若年層対策事業）	○若年層の自殺対策に主体的に携わる人材を養成するための研修会 内容：講義「児童・生徒の自殺リスクアセスメントを身につける ～支援機関と連携するために～」 講師：京都精華大学共通教育機構学生相談室 准教授 川本 静香 氏	○令和5年12月11日（月） 教職員、SC、SSW、市町村及び保健所職員等 54名
	自殺事後ケア支援事	○自死遺族支援者研修会 内容：講義「自死遺族に対する理解とケアについて」 講師 立教女学院短期大学元学長・「ちいさな風の会」世話人 若林 一美 氏	○令和6年1月25日（木） 市町村、保健所、消防本部、医療機関、教育関係者等 31名
	自殺未遂者・見守り支援体制整備事業	○二次救急医療機関等に搬送された自殺企図者の再企図防止のため、二次救急医療機関と地域の連携及び地域の見守り支援体制を整備するため地域見守り支援部会・研修会を開催した。 ○地域見守り支援部会…オンライン 内容：二次救急医療機関自殺未遂者対応手順マニュアルの活用について ○研修会…オンライン 内容：第1・2回共通 講義「既遂させない、繰り返さない」ために ～「自殺未遂者対応手順マニュアル」の適切な活用について～ 講師 山梨県立精神保健福祉センター 所長 志田 博和 第1回 講義「自殺未遂者への対応について」 講師 富士川病院医療相談室 保坂 拓 氏、山梨赤十字病院地域医療連携室 傘木 希音 氏、甲府共立病院心理相談室 齋藤 徳仁 氏 第2回 講義「山梨県立北病院の自殺予防に関する取り組み」「自殺リスクの高い者の地域連携について」 講師：山梨県立北病院 看護部 武井 千寿 氏 社会生活支援部 太田 美佳 氏	○地域見守り支援部会 第1回 令和5年6月21日（水） 委員16名 第2回 令和6年3月開催予定 ○研修会 第1回 令和5年12月22日（金） 二次救急医療機関、保健所職員等 18名 第2回 令和6年2月27日（火） 二次救急医療機関、警察関係、消防関係、 市町村職員等 63名
山梨いのちの電話相談員研修会補助金	○山梨いのちの電話が実施する自殺予防の電話相談員を確保するため、相談ボランティア養成研修に対し補助金を助成した。	○相談員養成研修 5名養成 ○公開講座、電話相談実習等	

事業名		取組内容	実績
相談支援	こころの健康相談統一ダイヤル	○心の悩みを抱えた人の電話相談を実施【365日24時間（平日12時～13時を除く）】	○3, 170件
	多重債務者等こころの健康相談	○法テラスの無料法律相談時に保健師による心の健康相談を実施した。 月2回（第2、3火曜日 午後1時～4時）	○実施回数24回 相談件数16件
	自殺再企図防止ケア事業 （三次救急医療機関）	○県立中央病院の救命救急センターに搬送された自殺企図者に対し、病院からの要請に応じ、ライフコーディネーターを派遣するとともに支援後の情報交換会を開催した。	○ライフコーディネーター派遣 1件 *R4年度からの継続フォローアップ件数 2件
	自死遺族への相談支援	○自死遺族への電話相談・所内面接	○個別相談（電話・面接）2件（延2件）
	精神保健福祉相談	○自殺防止に関する相談	○個別相談（電話・面接） 62件 ○関係者との連絡・調整・会議 15件
連携推進・技術支援	山梨県いのちのセーフティネット連絡協議会	○自殺予防に関して県内の関係機関、関係団体が連携を強化し、総合的な自殺予防対策の推進を図ることを目的に協議会を開催した。（年2回）	○第1回 令和5年7月6日 ○第2回 令和6年2月（書面）
	関係者への技術支援	○自殺対策に関する情報提供、技術支援等 ・県・市町村の自殺対策推進計画進捗状況確認 ・いのち支える自殺対策推進センターからの研修案内等情報提供	○進捗状況確認 1回 ○情報提供 30回
		○各保健所地域セーフティネット連絡会議等への出席 会議：地域セーフティネット連絡会議、いのちをつなぐ青木ヶ原ネットワーク会議、市町村自殺対策推進会議等 研修：地域セーフティネット研修会、いのちをつなぐ声かけゲートキーパー研修等	○会議出席 10回 ○研修会参加 3回
		○市町村ゲートキーパー養成研修の支援 市町村が開催するゲートキーパー養成研修での講師、情報提供 市町村が開催するゲートキーパー実施状況調査	○実施状況調査（随時） ○市町村等における実施状況 実施市町村数 13市町村 その他 5団体 養成者数 1, 169人
	○ゲートキーパー養成研修の実施 関係機関からの要請によりゲートキーパー養成研修を行った。	○県におけるゲートキーパー養成状況 県職員 144名（実施回数4回） 警察職員 12名（実施回数1回）	
広報啓発	相談窓口広報事業	○広報啓発パンフレット「気づいて！こころといのちのSOSサイン」の作成・配付 （掲載内容） 自殺対策、自殺統計、自殺に関する知識、ゲートキーパーの役割、気づき・声かけ・傾聴のポイント、相談窓口 （配付先） 市町村、保健所、大学・専門学校・高校・中学校・特別支援学校、精神科医療機関、警察署、消防本部等	○パンフレット 作成部数 5, 000部 配布部数 5, 000部
		○救急搬送された自殺未遂者への相談窓口を周知する携帯型カードの作成・配付 （掲載内容） こころの健康相談統一ダイヤル及び精神保健福祉センターの電話番号、山梨県いのちのセーフティネット相談窓口一覧（QRコード） （配付先） 二次及び三次救急医療機関、消防本部、警察署、市町村、保健所等	○携帯型カード 作成部数 5, 000枚 配布部数 5, 000枚

「自殺未遂者見守り支援部会」 これまでの取組と今年度の取組予定

1. これまでの取組

令和4年度

- ・部会を4回開催し、二次救急医療機関における自殺未遂者対応マニュアルを作成

令和5年度

- ・部会を2回開催し、自殺未遂者対応マニュアル（確定版）を二次救急医療機関へ配布及び研修会の内容について検討
- ・「二次救急医療機関における自殺未遂者対応マニュアル（確定版）」を二次救急医療機関へ配布
- ・未遂者支援に関する研修会を開催

	内 容	講 師
1回目	「マニュアルの説明及び自殺未遂者への実際の対応」	山梨県立精神保健福祉センター所長 志田 博和 氏 富士川病院医療相談室 保坂 拓 氏 山梨赤十字病院地域医療連携室 傘木 希音 氏 甲府共立病院心理相談室 齊藤 徳仁 氏
2回目	「山梨県立北病院の自殺予防に関する取り組み」 「自殺リスクの高い者の地域連携について」	山梨県立北病院看護部 武井 千寿 氏 山梨県立北病院社会生活支援部 太田 美佳 氏

2. 今年度の取組予定

- ①部会を2回開催する予定。5月に書面開催を実施し、いただいた意見を反映させて②の研修等を実施していく。年度末に今年度の振り返り及び来年度に向けての方向性を確認する。
- ②二次救急医療機関における自殺未遂者対応マニュアルを普及するため医療機関へ出向き、マニュアルの活用に係る研修会の開催を予定

研修医療機関	実施日
市立甲府病院	R6.6.5
山梨厚生病院	R6.6.26
富士川病院	R6.7.12（予定）

- ③二次救急医療機関、市町村、警察、消防等を対象に、地域の見守り支援体制を整備するための研修会の開催を予定

3. 部会構成員

No.	カテゴリー	所属・団体等の名称	委員氏名	役職名
1	精神科医療機関	山梨県精神科病院協会	篠原 貴志	PSW部会長
2		山梨県精神神経科診療所協会	小澤 政司	会長
3		山梨県立北病院	山岸 大賀彦	主任看護師
4	三次救急医療機関	山梨県立中央病院	佐々木 由里香	精神保健福祉士
5	二次救急医療機関	市立甲府病院	村松 寛奈	M S W
6		甲府共立病院	佐藤 琢也	精神科医
7		山梨大学医学部附属病院	平田 卓志	精神科医
8		巨摩共立病院	吉野 美佐	ソーシャルワーカー
9		山梨厚生病院	篠原 貴志	精神保健福祉士
10		加納岩総合病院	石川 雄一	医療福祉相談課 課長
11		山梨赤十字病院	傘木 希音	社会福祉士
12		富士川病院	保坂 拓	社会福祉士
13	関係団体	山梨県精神保健福祉士協会	天野 麻美	精神保健福祉士
14	県関係課	山梨県福祉保健部健康増進課	矢ヶ崎 洋子	心の健康担当課長補佐
15	県関係機関	精神保健福祉センター	志田 博和	所長

オブザーバー：県医務課・保健所（甲府市、県4） 事務局：県健康増進課・精神保健福祉センター

二次救急医療機関 自殺未遂者対応手順マニュアル【確定版】 ver.1

自殺企図をしたと思われる身体損傷（過量服薬含む）の患者さんに「どう声を掛けたらいいのかな」「対応方法がわからないな」、そう感じたことはありませんか。自殺企図をした人は何らかの精神疾患に罹患している場合が多く、再企図の可能性が高いと言われています。「あれ？」と気づいたら、スルーしないで、声かけと聞き取り、自殺企図の評価、本人・家族への関わりやつなぎをお願いします。

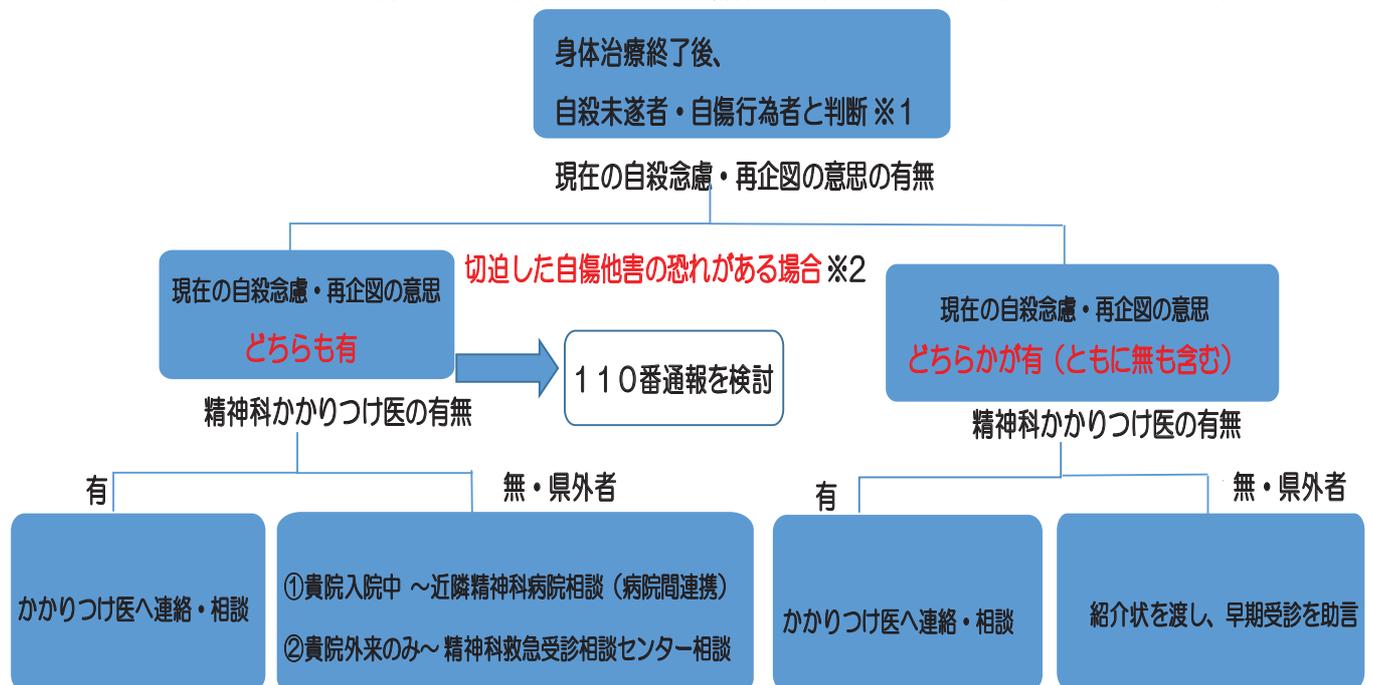


～山梨県いのちのセーフティネット連絡協議会～

対応の流れ：①気づき ⇒ ②声かけ・傾聴 ⇒ ③アセスメント ⇒ ④つなぐ

【自殺未遂者・自傷行為者の対応フロー】

自傷行為者も、悩みの内容に応じて精神科医療機関や適切な相談機関につなげましょう。



☆家族の同意が取れずに受診が出来ない場合、SOSパンフレット・携帯カードを渡す。 ☆本人を単独で帰宅させることは控える。

精神科救急受診相談センター（参考資料⑥参照） 0551-20-1125

かかりつけがクリニックで夜間休日等主治医と連絡取れない場合は、精神科救急受診相談センターの利用検討。

※1：裏面Aや参考資料①を基に判断してください。明らかに精神疾患が原因でない場合は、適切な相談機関を紹介してください。

※2：目を離した途端に自傷行為に及び危険性がある、刃物を振りかざす等の危険な行為があるような場合。

【SOSパンフレットと携帯カード】

ご本人・ご家族にお渡しください。
相談窓口等が掲載されています。



「これって自殺企図？聞いてみないとわからない！」

A【リスクアセスメント票と声かけ例】



原則、全項目聴き取ります。②と⑨が有の場合は緊急度高です！

項目	診察時等に聴く内容・本人への声かけ例	判断（有・無）
①今回の自殺企図の手段	〇〇をされたのですか？（例：鴨居にロープを掛け首をつろうとした） 準備していましたか？いつからですか？（例：3日前にロープを購入した）	手段（ ） 準備 有（いつから ）・無
②死にたい気持ち（自殺念慮）	死ぬつもりでされたのですか？ 今も死にたい気持ちがありますか？ 死にたい気持ちはいつからありますか？	有・無（いつから ） 今も死にたい(+/-)
③自殺未遂歴	今までにも死のうとして実際に何か行動したことがありますか？	有・無
④精神科受診歴	今までに心療内科や精神科にかかったことはありますか？ 最終受診はいつですか？ ※本県は3ヶ月以内をかりつけとしています。	有（最終受診日 ）・無 医療機関名（ ）
⑤今回の企図理由	今回はどのようなご事情があったのですか？ 最近調子を崩していませんか？6したか（疲労・睡眠・仕事・体調等は）？ 人間関係はどうですか？（被害的になっていないか）	有（理由あり） 無（理由なし）
⑥2質問法	①ここ1ヶ月、気分が落ち込んだり、憂鬱な気分になりましたか？ ②ここ1ヶ月、何をしても楽しくないと感じますか？	うつ病リスク(どちらか一つでも○) 有・無
⑦家族サポート	御家族はいらっしゃいますか？御家族との関係性はどうですか？ ※本人を単独で帰宅させることは控える。	有（サポート期待できる） 無（サポート期待できない）
⑧再企図の準備性	手にしやすい所に、〇〇があったりしますか？（例：農薬、ロープ等）	有・無
⑨再企図の意思	治療後に帰宅したら、また繰り返してしまいそうですか？ （例：なんで助けたんだ!次は見つからないようにやる!等の発言あり、目を離した途端に再企図に及ぶ可能性を感じさせる行動あり） ※たとえ患者が「もう大丈夫」と言っても、全て鵜呑みにしない。	有・無 ※わからないと回答された場合は有で捉える

B【早急に精神科につなぐためのチェックシート】

項目	チェック欄
患者基本情報	氏名（ ） 生年月日（ ） 年齢（ ） 性別 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 住所（ ） 保険種別 <input type="checkbox"/> 社保（共済） <input type="checkbox"/> 国保 <input type="checkbox"/> 生保 <input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 未加入
今回受診した状況（疑われる精神疾患等含め）	（例）〇月〇日〇時、自室で縊首を図ったところを母親に発見され救急車にて搬送。身体処置終了後、本人へ声かけを行ったところ、今も死にたい気持ちがあるとのこと、「どうして助けたの！」と騒ぎここ数日は眠れていない様子。
現在の身体状況・ADL	（例）身体処置後、身体状況は落ち着いており問題なし。ADLも自立している。
家族等（配偶者・親権者・扶養義務者及び後見人又は補佐人）医療保護入院に同意できる者	<input type="checkbox"/> 有（氏名 続柄 ） <input type="checkbox"/> 無 ⇒有の場合、精神科受診・入院に同意しているか（している・していない）
かかりつけ精神科医療機関 ※過去3ヶ月以内に受診している医療機関	<input type="checkbox"/> 有（医療機関名 最終受診日 月 日） <input type="checkbox"/> 無
過去これまでの精神科通院歴	<input type="checkbox"/> 有（①病院名 ②期間 ③最終受診日 年 月 日） <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明
過去これまでの精神科入院歴	<input type="checkbox"/> 有（①病院名 ②期間 ） <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明
リスクアセスメント票評価	※リスクアセスメント票の結果をまとめておく。
精神科病院への搬送方法	<input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> その他（ ）
受診同行者	<input type="checkbox"/> 有（氏名 続柄 ） <input type="checkbox"/> 無

令和5年度 保健所における自殺対策について

資料2-5

保健所名	地域セーフティネット連絡会議	地域セーフティネット連絡会議研修会	自殺対策市町村担当者会議	自殺防止センターとの共催事業・その他
中北保健所	<p>○地域セーフティネット連絡会議(対面開催) 令和5年11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県の自殺の現状について ・中北地域の自殺の現状について ・各機関の取り組みについて ・高齢者への取り組みについて ・ハイリスク地対策について 	<p>○令和6年2月29日開催 講師:山梨県立北病院 児玉啓輔医師 武井千寿専門看護師</p> <p>「自殺対策及び山梨県立北病院の思春期病棟の現状について」 峡南保健所と共催で実施</p>	<p>○令和5年度は開催なし 管内各市町の自殺対策会議には所長または精神保健担当が出席</p>	<p>○若年層メンタルヘルス事業が令和3年度で終了 北中市は、令和4年度より、SOSの出し方教育の講師料を予算化し、各小中学校で取り組んでいる。 令和5年度に関しては、1校、1回の授業を実施。 他1校は教員が実施。 嘱託医、北病院、民間心理施設等の講師調整を保健所が協力している。 調整ができない学校については、保健所が授業を実施するが、市でも実施できるよう検討。</p> <p>○出張メンタルヘルス講座 富士電機の社員を対象に実施(令和5年12月～令和6年1月に計4回) (株)山中産業の社員を対象に実施(令和5年10月)</p> <p>○ゲートキーパー養成研修 甲斐市役所の職員を対象に実施(令和5年10月) 中央市役所の職員を対象に実施(令和6年1月) 昭和町民生委員を対象に実施(令和6年3月)</p>
峡東保健所	<p>○令和6年3月12日 オンライン会議で各関係機関の取組状況の報告及び今後の方向性の確認。</p>	<p>○令和5年11月27日 山梨市・笛吹市・甲州市との共催で、NHKラジオ番組「みんなでひきこもりラジオ」の司会を務める栗原望アナウンサーと当所精神保健福祉士による対談「ラジオとくるま」を実施。</p>	<p>○令和5年8月29日 自殺防止対策の取組状況を確認。</p>	<p>特になし。</p>
峡南保健所	<p>○地域セーフティネット連絡会議(書面開催) ・令和6年3月19日</p> <p>①峡南地域における自殺の現状と峡南保健福祉事務所の取り組みについて ②R5年の住居地ベースの自殺者の状況について ③第3期山梨県自殺対策推進計画(素案)について</p>	<p>○地域セーフティネット連絡会議研修会 ※中北保健福祉事務所と共催 ・令和6年2月29日(木)</p> <p>・講義:「自殺対策及び山梨県立北病院の思春期病棟の現状について」 ・講師:山梨県立北病院 精神科医 児玉啓輔氏 山梨県立北病院 専門看護師(精神看護) 武井千寿氏</p>		
富士・東部保健所	<p>未実施</p>	<p>未実施</p>	<p>未実施</p>	<p>○出張メンタルヘルス講座(計2回): ・令和5年9月27日 対象者 介護老人保険施設職員 20人 ・令和5年10月10日、11日 対象者 民間企業 60人(2日合計)(いのちをつなぐ声かけゲートキーパー養成研修を兼ねる)</p> <p>○ゲートキーパー養成講座(計5回): ・令和5年7月5日 対象者:民間企業 17人 ・令和5年9月29日 対象者:都留市食生活改善推進員 38人 ・令和5年10月18日 対象者:丹波山村役場職員 10人 ・令和5年11月16日 対象者:大学生 33人、職員 3人 ・令和6年3月8日 対象者:都留市愛育会8人、市職員 3人</p> <p>○いのちをつなぐ青木ヶ原ネットワーク会議 : 令和5年8月21日</p> <p>○いのちをつなぐ声かけゲートキーパー養成研修 : 令和5年10月10日、11日 対象者 民間企業 約60人(2日合計)(出張メンタルヘルス講座を兼ねる)</p> <p>○健やか樹海ウォーク2023 : 令和5年9月3日 参加者359人(うち県外96人)</p> <p>○メンタルヘルス相談 ・令和6年1月25日 対象者:富士河口湖町役場職員 14人</p>
甲府市保健所	<p>○本市独自の開催はなし。</p> <p>中北保健所管内で開催される地域セーフティネット連絡会議に参加。</p>	<p>○本市単独の開催はなし。</p> <p>中北保健所管内で開催される地域セーフティネット連絡会議研修会に参加。</p>	<p>○本市単独のため、自殺対策市町村担当者会議の開催はなし。</p> <p>○庁内関係部署を対象に、「甲府市自殺対策推進本部 本部長会議」及び「甲府市自殺対策推進本部 幹事会」を開催。また、外部委員による自殺対策推進協議会を開催。</p> <p>○令和5年度は次期計画策定に取組むため、本部長会議を2回、推進協議会を3回開催し、取り残された課題の整理やアンケート調査の分析を行い、第2次自殺対策推進計画を策定した。</p>	<p>○自殺防止センターが実施する研修等に参加。</p> <p>○ゲートキーパー養成研修の開催 実施回数11回 養成者数493人</p> <p>○「甲府市自殺対策推進計画」に基づき、全庁的に自殺対策を推進している。</p>